

学校だより

# かしわの葉

美幌町立美幌小学校 第13号

〒092-0062 網走郡美幌町西2条北4丁目1番地 TEL 0152-73-2019 受付時間 7:40~17:00(通常時)

【学校教育目標】

できること いっぱい みつけよう  
自立する 柏っ子

◇やりとおす ◇かんがえる

◇つたえあい ◇ふれあい

◇みとめあい

令和8年 2月24日 発行

文責 校長 水野 利幸

## 令和7年度学校評価アンケート（2回目）の結果から

12月下旬に、本校の児童・保護者・教職員を対象に行った今年度第2回目の学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

昨年7月に行いました1回目のアンケートと同様に、今年度の重点教育目標である『つなぐ・つながる美幌小学校』における「学びをつなぐ」「心をつなぐ」「地域とつながる」の重点項目について、これまでの状況を捉えられるよう実施しました。児童アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートを並べ、関連項目ごとに、それぞれの捉え方の違いが分かるように整理しています。また児童アンケートには、経営理念のキーワードである『ウェルビーイング』の観点からの質問項目を加え児童・保護者・教職員の傾向が見えるようにしています。

集計の結果、児童アンケートでは、「学校の授業はわかりやすい」「体育の時間や休み時間などで、たくさん体を動かしている」「やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている」の項目で評価が高く、子どもたちが友達と仲よくしながら、意欲的に学校生活を過ごしている様子が読み取れました。また、「友達と話し合う活動（タブレットを使うことも含む）」の評価が前期より高くなり、「学校の授業はわかりやすい」も高めとなったことから、今後も指導法を工夫・改善していきたいと考えます。保護者アンケートでは、「お子様は、楽しく学校に通っている」「お子様は、自分のよいところを知っている」「お子様は、やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている」等の項目でよい評価でした。引き続き子どもたちが楽しく学校に通えるよう、教育活動を充実させてまいります。

児童アンケート、保護者アンケートの両方から見られる課題は、「読書習慣の定着」です。子どもたちが主体的に学習や読書に取り組めるよう、よりよい取組は継続し、さらに情報発信に努めてまいります。

保護者の皆様からの回答数は72件でした。なお、記述回答でいただいたご意見は、教職員・学校運営協議会・PTA役員会で共有し、今後の指導計画や学校運営の在り方を見直す際の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

### 《アンケート結果の見方》

・帯グラフ……対象の回答者全体を100とした時、左から

「している（思う）」など、肯定的回答

「どちらかといえば、している（思う）」など、やや肯定的回答

「どちらかといえば、していない（思わない）」など、やや否定的回答

「していない（思わない）」など、否定的回答

「わからない」

の順に並べ、その割合を表しています。

肯定的評価、やや肯定的評価のみ数値を表記。（単位％）

- ・肯定的・やや肯定的な回答が80%以上の質問項目は、◎がついています。
- ・肯定的・やや肯定的な回答が50%以下の質問項目は、△がついています。
- ・参考として、結果から窺える考察を加えています。

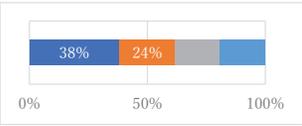
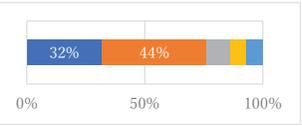
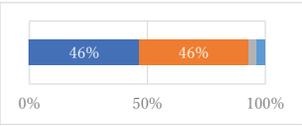
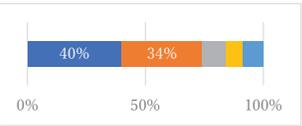
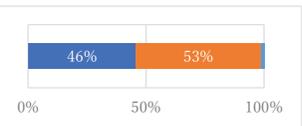
児童・保護者・教職員アンケート 結果比較

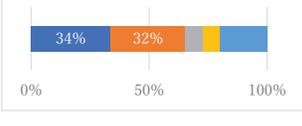
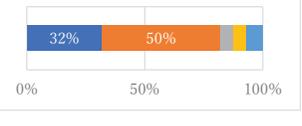
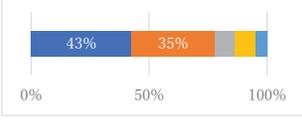
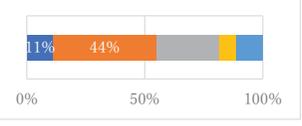
	重点項目	児童	保護者	教職員
○学びをつなぐ	◎学習規律・家庭学習習慣の定着等の学びの基盤づくり	<p>・「学習のきまり」(学習規律)を守って学習に取り組んでいる</p> <p>0% 50% 100%</p> <p>・自分で目標を決めて家庭学習(宿題・自主学習・読書)に取り組んでいる</p> <p>0% 50% 100%</p>	<p>・お子様は、家庭学習の習慣が身についている</p> <p>0% 50% 100%</p>	<p>・「学習のきまり」(学習規律)の定着を図っている</p> <p>0% 50% 100%</p> <p>・家庭での学習習慣の定着を図っている</p> <p>0% 50% 100%</p>
	◎わかる・できるが実感できる授業の習慣化とICTの活用推進	<p>・学校の授業はわかりやすい</p> <p>0% 50% 100%</p> <p>・友達と話し合う活動(タブレットを使うことも含む)を通じて、自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりすることができる</p> <p>0% 50% 100%</p>	<p>・お子様は、「学校の授業は分かりやすい」と言っている</p> <p>0% 50% 100%</p>	<p>・ICTを効果的に活用できる指導や授業展開を工夫している</p> <p>0% 50% 100%</p>

◎主体的・対話的で深い学びを意識した授業	<p>※中学校区共通項目(4年生以上)</p> <p>・自分の考えを文章で書くことができる</p> <p>0% 50% 100%</p> <p>・理由をはっきりさせながら、文章で説明したり、表現したりすることができるようになってきている</p> <p>0% 50% 100%</p>		<p>・子どもは、自分の考えを文章で書くことができる</p> <p>0% 50% 100%</p> <p>・子どもは、根拠を示しながら文章等で説明・表現する力がついてきている。</p> <p>0% 50% 100%</p>
◎体育授業の工夫改善	<p>・体育の時間や休み時間などで、たくさん体を動かしている</p> <p>0% 50% 100%</p>	<p>・お子様は、進んで運動や外遊びをしている</p> <p>0% 50% 100%</p>	<p>・運動量のある体育授業や特別活動を行うなど、体力向上の取組をしている</p> <p>0% 50% 100%</p>
◎読書活動、学校図書館の充実	<p>・学校や家などで毎日読書している</p> <p>0% 50% 100%</p>	<p>・お子様は、家庭で読書に親しむ習慣が身に付いている</p> <p>0% 50% 100%</p>	<p>・学校図書館の積極的な活用を働きかけるなど、読書に対する関心意欲を高めている</p> <p>0% 50% 100%</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律の定着や、家庭学習の習慣化が図られており、指導の成果がうかがえます。家庭学習の取組率を高めるには、子ども自身が家庭学習の必要感や有用性を感じるとともに、家庭（保護者）の協力や励ましが重要です。今後も家庭と連携しながら推進していきます。</li> <li>子どもたちの実態を的確にとらえ、日常的な教材研究や校内研修を中心とした授業改善に取り組んだ結果、「わかりやすい」と答えた子どもが80%に近い結果になったと考えられます。</li> <li>前期と比較し、児童アンケート「友達と話し合う活動（タブレットを使うことも含む）～」のA・Bの割合が+5%となりました。先生方の日常の授業での「自分の考えを整理し、効果的に表現する力の育成」を重視した授業展開の成果と考えます。ただ、「理由をはっきりさせながら、文章で説明したり、表現したり～」の項目は前期とほぼ同様 A/B の割合は72%であり、説明できていることを実感している児童が多いことから、研修部の取組や授業改善への方向性は的確であると考えます。</li> <li>読書の数値が下降傾向にあります。</li> </ul>				
○ 心 を つ な ぐ	◎あいさつや言葉づかいなど、基本的な生活習慣の定着	<p>・だれにでも元気にあいさつをしている</p>	<p>・お子様は、誰にでも元気にあいさつをすることができている</p>	<p>・率先して挨拶ができるように指導している</p>
	◎児童会活動や行事など、一人一人が活躍できる場面の設定（自己肯定感の育成）	<p>・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う</p>		<p>・長所や努力している姿を積極的に探し、本人や周りの人に伝えている</p>

○ 地 域 と つ な が る	◎道徳教育・人権教育の推進	<p>・やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている</p>	<p>・お子様は、やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている</p>	<p>・友達を大切にし、やさしい言動で接するように指導している</p>
	◎生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実（いじめ・不登校の早期発見）	<p>・自分の悩みや心配事などを、先生が聞いてくれる</p>	<p>・学校は、子どもたちの悩みや問題行動について、適時適切に対応している</p>	<p>・子どもたちの悩みや問題行動について、適時適切に対応している</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>前期と比較し、児童アンケート「先生はあなたのよいところを認めてくれている」「先生は自分の悩みや心配事を聞いてくれる」の数値がそれぞれ、前期とほぼ同じになりました。担任や学年団が、児童と向き合い、小さな変化を見逃さず適切に対応していただいている成果であると考えます。保護者評価も+9%と向上しました。丁寧な連絡、迅速な対応心掛けていきます。</li> <li>数値からは、何かあれば子どもが相談できる状況にはあると考えられますが、よいところを認めてもらっていると感じている割合はそれほど高くありません。今後も子ども一人一人のよさを見つけ、しっかりと言語化して伝えていくことを大切に指導していきます。</li> </ul>				
	◎地域人材や地域力の活用と地域学習の推進			<p>・地域の「ひと・もの・こと」に関わる体験活動の充実を図っている</p>

る	◎9年間を見通した 小中連携教育の 推進			・義務教育9年間を見直し、幼稚園・保育園・中学校との情報交流などを通して連携した取組をしている  
	◎家庭や地域と連携した望ましい生活習慣の定着		・学校は、子どもの学習や生活の様子など、教育活動の様子を発信している 	・子どもの学習や生活の様子など、教育活動の様子を発信している 
<p>・小中の連携については、連携の1つとして町内小中学校公開研への参加があります。本校には東陽小、北中から参加をいただいたが、北中や東陽への派遣は補欠等があり、多くはない参加にとどまりました。他校の事例を参考にしながら、義務教育学校設立を見据えて小中連携の観点から検討を進めていきます。</p> <p>・中学や高校との連携を高めているが、幼稚園や保育園との連携をさらに高めていくことを検討していきます。</p>				
○ そ の 他	*ウェルビーイングの向上	・学校(に行くの)は楽しいと思う 	・お子様は、楽しく学校に通っている 	

	・自分にはいくつかよいところがあると思う 	・お子様は、自分のよいところを知っている 	
	・将来の夢や目標を持っている 	・お子様は、将来の夢や目標を持っている 	
<p>・児童アンケートのウェルビーイングに関わる項目 A・B の数値は、ほぼ横ばいでした。</p> <p>・「自分にはよいところがある」(自己肯定感)の数値は、前期とほぼ変わらないものの、A・B の割合は 66%にとどまりました。今後も児童のよいところを認め、児童同士も認め合えるクラスづくりを進めていくことで、自己肯定感の向上をめざします。</p>			

後発地震注意情報の発令を受け、学校で大きな地震が起きた場合どうしたらいいのだろうか?とご質問がありました。災害の規模にもよりますが学校危機管理マニュアル及び美幌町防災計画による対応と同時に保護者にも連絡いたします。また、内陸部のため津波は想定されていませんが、想定最大規模の洪水でも美幌小学校は浸水の恐れはないこともあり避難所に指定されています。

個人面談が 4~5 月だと担任も変わって学校での様子も聞けないのでこの時期くらいにして欲しいというご意見がございました。1 年生は全家庭、2 年生以上はご希望な方を対象としていますが、早い時期にご家庭とコミュニケーションをとることで成長や課題を共有することができます。学校での様子については、いつでもお問い合わせいただいても構いませんので、ご理解とご協力をお願い致します。